



Cisco NX-OS ソフトウェアのアップグレード

このセクションには、次の詳細が含まれます。

- [3550-T プラットフォームでのソフトウェアのアップグレード \(1 ページ\)](#)
- [NX-OS リリース 10.2 \(x\) より前のリリースからのアップグレード \(1 ページ\)](#)
- [以前の NX-OS リリース を 10.6 \(x\) へアップグレードします。 \(2 ページ\)](#)
- [NX-OS リリース 10.2 \(x\) へアップグレードします \(4 ページ\)](#)

3550-T プラットフォームでのソフトウェアのアップグレード

ソフトウェア アップグレードは、3550-T スイッチにおける以下を実行するネットワーク メンテナンス プロセスです。

- オペレーティング システム (OS) をアップデートします。
- ネットワークインフラストラクチャのセキュリティとパフォーマンスを向上させます。そして、
- より新しい機能との互換性を確保します。

一般に、3550-T スイッチ ソフトウェアのアップグレードでは、新しいソフトウェア イメージをダウンロードし、スイッチにインストールし、新しいバージョンをアクティブにするためにデバイスをリロードする必要があります。

[ソフトウェア ダウンロード](#) Web サイトから必要な NX-OS リリース イメージを選択します。

NX-OS リリース 10.2 (x) より前のリリースからのアップグレード

Exa-OS リリースのいずれかを使用して、NX-OS リリースにアップグレードする場合は、まず 10.2 (x) にアップグレードしてから、それ以降のリリースにアップグレードします。詳細

以前の NX-OS リリース を10.6 (x) へアップグレードします。

については、[NX-OSリリース 10.2 \(x\) へのアップグレードの](#) セクションを参照してください。

以前の NX-OS リリース を10.6 (x) へアップグレードします。

この手順を活用、10.3 (x) 以降の NX-OS リリースから 10.6 (x) リリースへの標準規格アップグレードを実行します。NX-OS リリース 10.6 (1) F または 10.6 (2) F から 10.6 (3) F にアップグレードする場合も、同じ手順を活用。

以前のリリースから最新のリリースにアップグレードする場合は、**show install all impact** 互換性チェックを使用します。



- (注)
- 3550-T プラットフォームは、中断を伴うアップグレードのみをサポートします。
 - 10.6 (3) F より前のイメージからアップグレードする場合、古いイメージには新しい BIOS 更新プロセスをトリガー機能がないため、BIOS は現在のバージョンのままになります。
 - 以前のリリースにダウングレードには、**install all** コマンドを使用します。

必要なリリースにアップグレードするには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 必要なソフトウェア イメージ (たとえば、**10.6.3** イメージを **bootflash:** にコピーします。

ステップ 2 **install all nxos bootflash:<version_image>** コマンドを実行します。

例 :

```
install all nxos bootflash:nxos64-ms11.10.6.3.F.bin
```

(注)

NX-OS ブート変数を正しいイメージに設定し、リロードする前に設定を保存してください。

ステップ 3 システムがリロードを完了するのを許可します。

ステップ 4 **show version** コマンドを実行して、インストールされているリリース バージョンを確認します。

BIOS のアップグレード

NX-OS リリース 10.6 (3) F 以降、3550-T プラットフォームでは BIOS アップグレードに標準規格の NX-OS **install all** ワークフローが採用されています。BIOS バージョンが 3.5 から 3.6 に

アップグレードされます。この移行により、手動の内部コマンドを使用した従来の BIOS アップグレード方法が置き換えられ、メンテナンスプロセスが合理化されます。



- (注)
- BIOS のアップグレードにはシステムのリロードが必要です。
 - BIOS ダウングレードでは、**bios-force** オプションを使用してダウングレードを開始する必要があります。

NX-OS リリース 10.6 (3) F にアップグレードした後、最新の 3.6 BIOSを適用するには、次のコマンドを使用します：

手順

ステップ 1 **install all nxos bootflash:<version_image> bios-force** コマンドを実行します。

例：

```
install all nxos bootflash:nxos64-ms11.10.6.3.F.bin bios-force
```

ステップ 2 システムは BIOS の更新プロセスをトリガーし、その後リロードを実行します。

ステップ 3 **show version** コマンドを実行して、インストールされているリリース バージョンを確認します。

```
Software
  BIOS: version 3.6
...
```

アップグレードの検証コマンド

ソフトウェアおよび BIOS のアップグレードには、表に示されている任意のコマンドを活用。

表 1: アップグレードの検証コマンド

コマンド	目的	
show install all impact nxos <image>	BIOS アップグレードの影響とバージョンの互換性を事前にチェックします。	
show version	イメージおよび BIOS バージョンを表示します。	

NX-OS リリース 10.2 (x) へアップグレードします

Nexus 3550-T スイッチは、次の方法で NX-OS リリース 10.2 (x) アップグレードできます：

- ExaOS の攻撃
- NX-OS リリース 10.1 (2t)

ExaOS から NX-OS リリース 10.2 (x) へのアップグレード

この手順を活用、3550-T プラットフォームを ExaOS から NX-OS リリース 10.2 (x) にアップグレードします。

手順

ステップ 1 ExaOS から NX-OS リリース 10.1 (2t) に移行します。

詳細な手順については、『[Cisco Nexus 3550-T NX-OS ソフトウェア インストールおよびアップグレードガイド](#)』を参照してください。NX-OS リリース 10.1 (2t) は、[\[ソフトウェア ダウンロード \(Software Downloads\)\]](#) Web サイトから入手できます。

ステップ 2 NX-OS リリース 10.1 (2t) から NX-OS リリース 10.2 (x) にアップグレードします。

詳細な手順については、[NX-OS リリース 10.1 \(2t\) から NX-OS リリース 10.2 \(x\) へのアップグレード \(4 ページ\)](#) を参照してください

NX-OS リリース 10.1 (2t) から NX-OS リリース 10.2 (x) へのアップグレード

3550-T を NX-OS リリース 10.1 (2t) から NX-OS リリース 10.2 (3t) または 10.2 (3v) までにアップグレードするには、次の手順を使用します。

始める前に

NX-OS リリース 10.1 (2t) または 10.2 (3t) を実行している必要があります。

手順

ステップ 1 `boot nxos` 次を示すコマンドを実行します。

10.2 (3t) 用

```
switch(config)# boot nxos bootflash:nxos64-msll.10.2.3t.F.bin
switch(config)# copy r s
switch(config)# reload
```

10.2 (3v) 用

```
switch(config)# boot nxos bootflash:nxos64-msll.10.2.3v.F.bin
switch(config)# copy r s
switch(config)# reload
```

NX-OS リリース 10.2 (x) イメージは、Webサイトの[\[ソフトウェア ダウンロード \(Software Downloads\)\]](#)から入手できます。

(注)

NX-OS ブート変数を正しいイメージに設定し、リロードする前に設定を保存してください。

ステップ 2 **show version** コマンドを実行して、インストールされているリリース バージョンを確認します。

10.2 (3t) の出力例 :

```
Cisco Nexus Operating System (NX-OS) Software TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (C) 2002-2022, Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under their own licenses, such as open source.
This software is provided "as is," and unless otherwise stated, there is no warranty, express or
implied, including but not limited to warranties of merchantability and fitness for a particular
purpose.
Certain components of this software are licensed under the GNU General Public License (GPL) version
2.0 or
GNU General Public License (GPL) version 3.0 or the GNU Lesser General Public License (LGPL) Version
2.1 or Lesser General Public License (LGPL) Version 2.0.
A copy of each such license is available at http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://opensource.org/licenses/gpl-3.0.html and http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php and
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/library.txt.

Software
BIOS: version 3.5
NXOS: version 10.2(3t) [Feature Release] BIOS compile time: 11/23/2021
NXOS image file is: bootflash:///nxos64-msll.10.2.3t.F.bin NXOS compile time: 9/6/2022 2:00:00
[09/06/2022 12:48:07]

Hardware
Exablaze Triton TOR 48X10G Chassis
Intel(R) Atom(TM) CPU C3708 @ 1.70GHz with 16369376 kB of memory. Processor Board ID EXATRI-A-01362
Device name: switch bootflash: 41943040 kB

Kernel uptime is 0 day(s), 0 hour(s), 10 minute(s), 37 second(s)

Last reset at 1879 usecs after Tue Sep 6 18:44:05 2022 Reason: Reset Requested by CLI command reload
System version: 10.2(3) Service:
plugin
```

Core Plugin, Ethernet Plugin Active Package(s):

10.2 (3v) の出力例 :

```
Cisco Nexus Operating System (NX-OS) Software TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (C) 2002-2023, Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.
```

The copyrights to certain works contained in this software are owned by other third parties and used and distributed under their own licenses, such as open source. This software is provided "as is," and unless otherwise stated, there is no warranty, express or implied, including but not limited to warranties of merchantability and fitness for a particular purpose.

Certain components of this software are licensed under the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or

GNU General Public License (GPL) version 3.0 or the GNU Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1 or Lesser General Public License (LGPL) Version 2.0.

A copy of each such license is available at <http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php> and <http://opensource.org/licenses/gpl-3.0.html> and <http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php> and <http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/library.txt>.

Software

BIOS: version 3.2

NXOS: version 10.2(3v) [Feature Release] BIOS compile time: 06/02/2021

NXOS image file is: bootflash:///nxos64-msll.10.2.3v.F.bin NXOS compile time: 7/5/2023 18:00:00 [07/05/2023 22:51:04]

Hardware

Exablaze Triton TOR 48X10G Chassis

Intel(R) Atom(TM) CPU C3708 @ 1.70GHz with 16369376 kB of memory. Processor Board ID EXATRI-A-01427

Device name: FF20-Solution-EX1 bootflash: 41943040 kB

Kernel uptime is 2 day(s), 15 hour(s), 52 minute(s), 26 second(s)

Last reset at 206676 usecs after Tue Jul 11 16:07:55 2023 Reason: Reset Requested by CLI command reload

System version: 10.2(3v) Service:

plugin

Core Plugin, Ethernet Plugin Active Package(s):

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。